



隊友ロゴマーク

支部だより 4月号

第156号 2018. 4. 1

香川県隊友会丸亀支部

〒763-0071 田村町 699-17 Tel 0877-22-8981

支部長 大西邦彦 090-1007-9199



願はくは 花の下にて 春死なむ そのきさらぎの

望月のころ (西行法師)

3月の活動報告

1. 地域ボランティアへの参加

15日 10:00~11:00 の間、丸亀護国神社の招魂祭を支援しました。開始に先立ち、09:00 から神社境内の清掃を実施。ご参列の遺族は1名。市民(赤松会員家族も参列) 禰宜宮田治彦様祭司のもと、世話役として宮本様母娘、支部からは、赤松、香川、丁野、高島、武田、大西(支願)の会員6名のご奉仕を頂きました。

2. 支部会議等

・支部だより3月号配分

3日(土) 09:00 ~ 10:00 の間、香川県護国神社参集殿において、丁野、小松、武田、西岡(克)、猪井、大西(支願)の6名が配分作業を実施。

3. 県行事等

・平成29年度入隊・入校激励会



10日(土) 14:00 から高松テレサで開催、濱田県知事が、来賓祝辞を述べる。陸、海、空の香川県出身隊員による挨拶は、とても立派なものでした。入隊予定者82名、支部長出席

・防災資材点検

25日(日) 10:00 から丸亀市水防センター(垂水町)において直江県事務局長、高島、西岡(弘)、武田、天野(善通寺)の5名が参加。資材点検、倉庫清掃の他



公衆トイレの清掃を実施しました。



3月招魂祭



3月15日(木) 春風がキラキラと光り輝き、春の到来を感じる丸亀護国神社境内。奉仕の精神旺盛なる隊友会丸亀支部有志は、月例の招魂祭を催行しました。心清らかに、先人の御霊に手を合わせ、日本の平和、郷土の繁栄を祈りました。【写真左】隣接する道路を清掃する参加会員

【写真右】支援を終えて近況確認、情報収集。

4月以降の予定

1. 地域ボランティアへのお誘い

丸亀護国神社にて、毎月15日 10:00 から月例の招魂祭が行われます。会員皆様のご参加ご協力について宜しくお願いします。清掃奉仕・準備は、09:00 から実施します。

2. 支部会議等

・支部だより4月号配布等

日時: 4月7日(土) 09:00 ~ 10:30

場所: 香川県護国神社参集殿

・支部29年度後期役員会

日時: 4月7日(土) 10:30 ~ 12:30

場所: 香川県護国神社参集殿

・支部だより5月号配布等

日時: 4月28日(土) 09:00 ~ 10:30

場所: 香川県護国神社参集殿

3. 県行事等

・第14旅団創隊12周年記念行事

日時: 4月22日(日) 10:00 ~ 15:00

(駐屯地開放 09:00 ~ 15:00)

場所: 善通寺駐屯地及び市内

観閲式、空挺降下、訓練展示、市中パレード、96式装輪装甲車体験搭乗等

掲示板

1. 平成30年度丸亀支部定期総会・懇親会

6月2日(土) 17:00 からオークラホテル丸亀

(富士見町3-3-50) で計画しています。

車両による送迎を予定します。

ご案内は、5月号にて実施します。

万障お繰り合わせの上、参加いただきます様、お願いします。(支部長)

2. 新規入会者紹介

・飯尾公次 様

住所: 丸亀市浜町 84-49 サークル丸亀駅前 703号

電話: 090-8971-0496

勤務: 第14後方支援隊補給中隊

・村川竜二 様

住所: 丸亀市田村町垂水町 2394-2

電話: 090-4337-6388

勤務: 徳島駐屯地業務隊

3. 会員投稿についてお願い

事務局から会員の皆様にお願ひがあります。

御自身の近況や趣味の話やペットの話題など・・・どんな話題でも結構です。いつも同じメンバーからの投稿ではなく、会員皆様方からの投稿を頂き、読んでみたいと思っ頂けるような支部だよりにしてゆきたいと思っています。投稿について何卒よろしくお願ひ申し上げます。

会 員 の ひ ろ ば

記事投稿は、支部長又は荒谷（メール stngxyf8323@mc.pikara.ne.jp）までお願いいたします。

防災士養成講座を受講して 才谷順一 会員（綾歌町）



平成 29 年 10 月 7 日より防災士養成講座が始まり月 1 回の 1 日間（5 時限の講義カリキュラム、AM 9:50～12:10、PM 13:00～16:00）を受講し今年 2 月 17 日まで 5 回にわたる講座を受け修了式後履修証明を取得、防災士資格試験に受験し合格することが出来ました。

本講座を受講して感じたことを述べたいと思います。日本は地震、津波、火山噴火多発国であり、古来より幾多の災害を経験して参りました。阪神・淡路大震災（1995 年 1 月）の教訓として低かった防災意識、防災対策が出来てなかったため大きな被害を生じました。特に建物に被害が集中し耐震化が指摘されました。1981 年 6 月 1 日より前に建てられた建物に被害が多くありました。そのため耐震補強は急がなければなりません。地震による家屋の倒壊など災害に備え常日頃から住宅の耐震補強や家具などの転倒防止する器具の取り付けや水・食料等の備蓄などを行って被害をできるだけ少なくするよう努める着意が重要であると考えます。東日本大震災（2011 年 3 月）熊本地震（2016 年 4 月）の被害で「何が起こったか」「何が出来なかったか」「何が足らなかったか」「何をしておくべきか」等を検証しこれらの検証結果から得た教訓を今後に生かし 2050 年頃までに非常に高い確率で発生することが予測されている災害に対し、「まさか、もしかしたら」へ意識改革を行いつつ「人の命の大切さ」特に生き残ることが最も大切であり防災の原点であることを講義を受け「救助される人ではなく救助する人を目指すのだ!」ということを理解することが出来ました。

今後は、防災士として地域との連携を図りつつ、防災・減災力の向上基盤を形成するため、微力ながら日々精進してゆきたいと思っています。

隊友会新規入会の挨拶（自己紹介） 飯尾公次 会員（浜町）



晩春の候、隊友会丸亀支部の皆様方におかれましては益々ご健勝のお慶び申し上げます。

昨年 12 月、第 14 後方支援隊勤務を最後に定年退官し、この度、隊友会に入会させて頂くことになりました。現在、高松市の百十四ビジネスサービス（株）に再就職させて頂き、充実した日々を過ごしております。

今後とも、何卒よろしくお願い致します。

第 15 普通科連隊 思いでの夕べに参加

事務局広報へボ編集長

我が心のふる里、第 15 普連は昭和 29 年編成完結以来、63 年にわたり多様な任務を完遂してまいりました。本年度末をもって即応機動連隊に部隊改編するにあたり 3 月 17 日（土）17:00 から丸亀オークラホテルにおいて連隊 OB 約 70 名、現職約 50 名の総勢 120 名が参加。楽しい一時を過ごしました。

防災士としての講習を受講して感じたことを、 隊友会会員及び家族向けに簡潔にまとめます。 柴田 進 会員（山北町）



1 自助の重要性
「天は、自ら助くる者を助く」といいます。
自衛隊の出身者であれば、なおのこと。
「自らの国は、自ら守る」の気概と共通します。
困った時は、お互い様で、助けられる側になることもあるでしょう。
できれば、助ける側になることが

望ましいです。

「自らの身は、自ら守る」という護身の精神が基本です。

2 心構え

私たちが使っている壺萬円札でおなじみの、福沢諭吉。その福沢が唱えた「独立自尊」は、国、地域、家、個人に通底すると思います。

私たちは、何でもできる万能ではありません。

しかし、何もできないわけでもありません。

過信や強がり、禁物です。その上で、自分は何ができるかを把握し、自分を守って人を助ける、近くの人と助け合えることが大切だと思います。

3 平素からの準備すべきこと

戦国武将は、領地の一木一草に至るまで知っていたといえます。

陸上自衛隊で責任ある立場だった人も、同様でしょう。世界各地に派遣される現役隊員ほどではないにせよ、私たちも、まず地域の特性に関心を持つことからです。さらに、物的準備も整えておけば、言うことありません。

4 参考になること

(1) 講師陣、面白すぎ！

最初は、いつもの得意な習慣で睡眠学習でした。しかし、段々と引き込まれるようになりました。個性豊かな講師陣が、毎回趣向を凝らした内容を準備してくれ、寝るのがもったいない充実ぶりでした。

(2) 受講生、熱心すぎ！

老若男女の多彩な受講生が多く、刺激を受けました。積極的に質問する人もいて、若い学生時代に戻ったようでした。

5 個人としての平素出来る自助努力の重要性

特に、南海地震の発生について色々云われています。必ず来ます、いつかは。丸亀市の災害は、比較的少ないものの、皆無ではありません。

災害は忘れた頃に、忘れずにやって来ます。

「治に居て乱を忘れず」は、安全保障や防衛だけでなく防災にも言えるでしょう。

丸亀支部 事務局広報より「お詫び」

丸亀支部だより編集において、平成 29 年 11 月 16 日に行われた支部囲碁大会の結果について紹介すべきところ、編集担当者のミスにより掲載せず、誠に申し訳ありませんでした。改めて紹介させていただきます。

参加者：四角、中山、赤松、池本会員の 4 名が参加。

優勝：赤松義弘 様 でした。